

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 1 日

事業名称		用地買収事務費 [東大和市土地開発基金運用事業]										
予算科目	款	8	土木費	項	3	都市計画費	目	1	都市計画総務費	事業番号	10	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	総務管財 課 用地管財 係					課長名	宮田 智雄					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	4 - 1			
【施策名】 市街地の整備								総合計画書 (ページ)	83			
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）						
	土地開発基金					土地開発基金の額						
	→											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）						
適正に管理される。					5年以上基金に属している土地等の額							
→												
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）							
①基金で土地を取得する。 ②基金に属する土地を処分する。（一般会計で買い戻す。）					①取得額 ②処分額							
→												
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和2年度目標		令和3年度目標		
	対象指標	①の数値	円	10,000,000	10,000,000	10,000,000						
	成果指標	②の数値	円	0	0	0						
	目 標	②の目標値	円	0	0	0						
		目標値設定の考え方 基金を活用するために、基金で取得した土地等を一般会計により早期に買い戻すことが必要である。										
	活動指標	③の数値	円	①0 ②0	①0 ②0	①0 ②0						
3 経費	事業費（実績）		円	0	0	0		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,380,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	0	0	0						
		特定財源	円	0	0	0						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	人件費 (目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円	824,400	831,000	838,000						
		職員人件費(再任用)	円	0	0	0						
事業費+人件費		円	824,400	831,000	838,000							
4 環境変化等	(1) 開始年度 昭和44 年度											
	(2) 環境の変化 基金設立時の基金の額は4,600万円であったが、地価高騰に伴う先行取得の必要性等により増額され、最終的には平成3年に13億円となった。 基金を活用する事業の減少等の実情に合わせるため、平成24年度に基金の額を1億円とする条例改正を行った。											

事業名称	用地買収事務費 [東大和市土地開発基金運用事業]				
担当部署・課長名	総務管財	課	用地管財	係	課長名 宮田 智雄

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ		取組手法：		
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 処分見込みがある取得地かどうか確認しながら検討する。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 事例がなかった。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 現保有地の処分の検討				
	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 市街地の整備 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）				
	9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 事例が出た場合は、一般会計で基金に属する土地を買い戻す予算を計画的に計上するよう働きかける。			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 事業主管課及び関係課との調整が必要である。					